

ぶらっとサロン通信 令和2年12月増刊号



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3月10日から自粛し**現在休業中**です。

黄色の椿は1965年に中国広西壮族自治区の南寧市近郊に自生することが発表されました。発見された当時は非常に珍重され、しばらくは中国国内からの持ち出しが禁止され、外国人による植物調査はもちろん外国からの観光旅行さえ認められていませんでした。昭和57年(1982)頃になって、日本に『**金花茶(きんかちゃ)**』が導入されました。中国及びベトナム原産の黄色の椿をご案内しま



金花茶(きんかちゃ)

Camellia chrysantha

分布:中国/広西壮族自治区南部

花は光沢のある黄色で花弁は9~11枚 **1956年に発表されるや 世界中のツバキ愛好家を驚きと興奮の渦に巻きこんだ**



毛籽金花茶(もうじきんかちゃ)

Camellia ptilosperma

分布:中国/広西壮族自治区南西部の石灰岩山地 花は淡黄~黄色で花弁が9~12枚 葉はやや小形で薄質 弱アルカリ性土壌に生育する 1994年日本へ導入



凹脈金花茶(おうみゃくきんかちゃ)

Camellia impressinervis Changet.

分布:中国/広西壮族自治区南西部/竜州 花は淡黄~黄色で花弁は10~12枚 花底に淡紅ぼかしが入るものもある 葉は革質で、長さ5~13cm 1994年に日本へ導入



平果金花茶(へいかきんかちゃ)

Camellia pingguoensis

分布:中国/広西壮族自治区南西部/平果など 花は澄んだ淡黄色で花弁は5~8枚 樹高2~3mの低木で、葉は小形。 わが国へは1994年に導入



フラバ

Camellia flava

分布:ベトナム北部 花は黄色で花弁数11~15枚 名のフラバは鮮黄色の意 クックフォン国立公園の林内のやや陰湿地に自生 1993~94年日本へ導入



クエフォンエンシス

Camellia quephongensis

分布:ベトナム中北部 花は黄~濃黄色で花弁は11~14枚 花径は5~6cm ラオス国境に近いクエフォン村の山地で2001年に発見し 日本へ導入

交配(hybrid)で作出された黄色椿『初黄(しょこう)』『こがねゆり』『黄鳳(きほう)』『かぎひろ』『キザクラ』『黄基(きのもと)』『黄の旋律(きのせんりつ)』『こがね錦(こがねにしき)』などが流通しています